

近畿総合ニュース

兵庫都賀良樹
官庁・民間
工事情報を掲載
お問い合わせは
建通新聞大阪支社
電話 06(6201)3927

伊丹市内にマンション

タクトプランで設計中

プレサンスコーポ

【伊丹】プレサンスコーポレーション(大阪市中央区城見1ノ2ノ27)は、兵庫県伊丹市内でマンション開発を計画している。物件名は(仮称)プレサンスロジエ伊丹市南本町6丁目新築工事。阪急新伊丹駅などからアクセス可能な立地だ。12月上旬の工事着手を目指しており、タクトプラン建築事務所大阪(大阪市中央区安土町3ノ4ノ5)が担当して設計を進めている。

阪急新伊丹駅から徒歩約50分、徒歩約6分に位置する。周辺には関西スーパースタジアム跡地に店舗付き共同住宅の(仮称)中央店や阪急オアシス伊丹店などの生活利便施設がある。

NAIGAI 店舗付き共住建設 昭和駅前店跡地に

【神戸】NAIGAI(神戸市東灘区甲南町2ノ7ノ12)は、親会社の内外礦油が経営する昭和

高松テクノサービス 資材置き場など視察 高麗橋ウエストビルで安パト実施

高松テクノサービス大阪本店(大阪市淀川区)は5日、自社が施工する高麗橋ウエストビル改修工事(大阪市中央区)の現場で安全パトロールを実施した。写真。雨天の中、資材置き場や建物周りの足場、各階のトイレの施工状況など隅々まで視察した。

10班編成で16作業所を視察 長谷工と関西・東海安全協会の長谷工コーポレーションと関西・東海安全協会の合同パトロールを実施した。役員や協力会理事ら84人が参加し、10班編成で16作業所を視察した。

全国安全週間経営首脳特別合同パトロールを実施した。役員や協力会理事ら84人が参加し、10班編成で16作業所を視察した。



古泉正人取締役事務執行役員(右)らが危険箇所がないか厳しくチェックした

野洲市 中主中校舎基本・実施設計 24年度にも公告

【野洲】野洲市立中主中学校校舎施設長寿命化計画に基づき市内小・中学校の改修を進めている滋賀県野洲市は、中主中(六条377)の校舎長寿命化改修基本・実施設計業務の一般競争入札を2024年度中に公告する見

宅240)の校舎増築・長寿命化工事の一般競争入札を24年度中に公告する。校舎体育館の改修、校舎1棟の増築工事を行い、28年度中の完了を目指す。また、祇王小(上屋1169)は基本・実施設計を27年度中、工事を29年度中にそれぞれ一般競争入札で発注する。



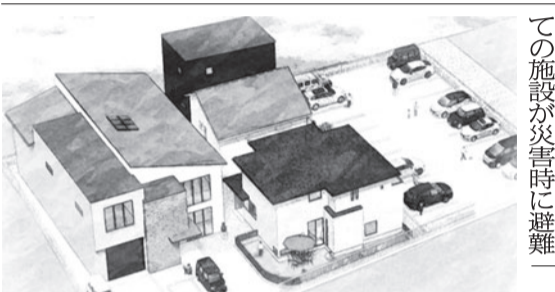
自動運転技術等検討分科会長の就任挨拶をする波床氏(右から3番目)

野谷将一氏が選ばれた。続いて開かれた自動運転技術等検討分科会では、推進委員会の会長に大阪公立大学大学院教授の嘉名光市氏、副会長に大阪産業大学教授の波床正敏氏、監査委員に南海バス常務取締役企画部長の野谷将一氏が選ばれた。

国土交通省は、3次元データで都市空間を再現する「PLATEAU(プレート)」がもたらす「未来」を具体化していくため、必要となるプロジェクトについて、7つのテーマでアイデアの

西宮市 西宮消防署跡地活用 24年1月着工へ

兵庫県西宮市は、旧西宮消防署跡地活用事業者と協議を進め、吉村一建設(堺市中区)の提案内容を公表した。跡地を「西宮ゲストプラザ」として、事務所棟1棟とモデルハウス3棟を建設。2024年1月に着工し、8月31日のグランド



吉村一建設が提案した西宮消防署跡地活用案

オープンを予定している。対象地は津門大塚町149ノ5の敷地面積1374平方メートル。事務所棟の規模は木造2階建て延べ477平方メートル、1階に事務室や資料倉庫、2階にキッズルームや商談ルームを配置。屋上には

高性能モデルハウスのA棟は木造2階建て延べ186平方メートル、B棟は木造3階建て延べ130平方メートル。それぞれ脱炭素仕様となる。宿泊モデル棟は木造2階建て延べ101平方メートルで、全館空調シ

システムが体験できる。全所として開放される。2平方メートルの緑化ガーデンスペース、467平方メートルの駐車場エリアを設ける。土地は、7月中旬に一時使用貸借契約を結び、借地権の存続期間は55年間。今後、最新モデル販売時に更新していく見

設校舎をリース契約で設置する。改修規模は、北野小の校舎が鉄筋コンクリート造3階建て延べ約5000平方メートル、体育館が鉄骨造平屋約1100平方メートル。増築する校舎の規模は設計中。中主中の校舎が鉄筋コンクリート造3階建て延べ約3500平方メートル、同造3階建て延べ1500平方メートルの2棟、祇王小の校舎が同造4階建て延べ約5200平方

京都市内で行われた大会には角川政信社長をはじめ、稲垣良二大阪本店長、関西建友会の橋本宗博会長ら来賓を含む関係者約270人が参加。安全に貢献のあった作業所や個人に対する表彰式の他、現場での取り組み紹介などが行われた。

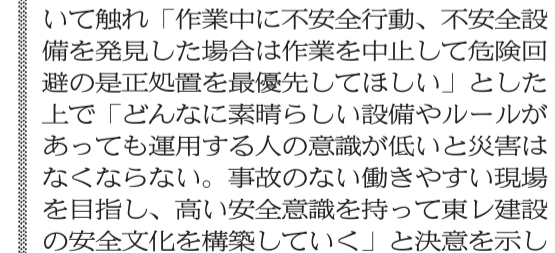
募集を始めた。大学や研究機関、企業から情報提供依頼(RFI)を受け付け、2024年度の企画競争提案に備える。応募期限は18日。テーマは、▽データカバレッジの拡大▽ユースケース開発▽コミュニティ形成▽サービス実装・提供▽地域のデジタルケイバ向上▽オープンイノベーション創出・シームレス提供▽エコシステム構築の七つ。具体的な方向性は、データ整備手法の効率化、3D都市モデルを活用した社会課題の解決、開発参加者のすそ野拡大、3D都市モデルの実装を促進する体制構築など。RFIでこれらの実現に必要なアイデアを採る。

RFIの実施要領や応募様式などは国交省のホームページへ https://www.mit.go.jp/foshi/daisi/plateau_rfi2024.html に掲載中。

安全+大会フラッシュ

●東レ建設大阪本店 (7月6日)

大阪本店と京滋支店、同社の協力会社で組織する関西建友会、関西地区災害防止協会の4者共催による安全衛生大会を開催。岡田龍憲京滋支店長(写真)は、2月に発生した重大ヒヤリハット事案について触れ「作業中に不安全行動、不安全設備を発見した場合は作業を中止して危険回避の是正処置を最優先してほしい」とした上で「どんなに素晴らしい設備やルールがあっても運用する人の意識が低いと災害はなくなる。事故のない働きやすい現場を目指し、高い安全意識を持って東レ建設の安全文化を構築していく」と決意を示した。



京滋支店長(写真)は、2月に発生した重大ヒヤリハット事案について触れ「作業中に不安全行動、不安全設備を発見した場合は作業を中止して危険回避の是正処置を最優先してほしい」とした上で「どんなに素晴らしい設備やルールがあっても運用する人の意識が低いと災害はなくなる。事故のない働きやすい現場を目指し、高い安全意識を持って東レ建設の安全文化を構築していく」と決意を示した。